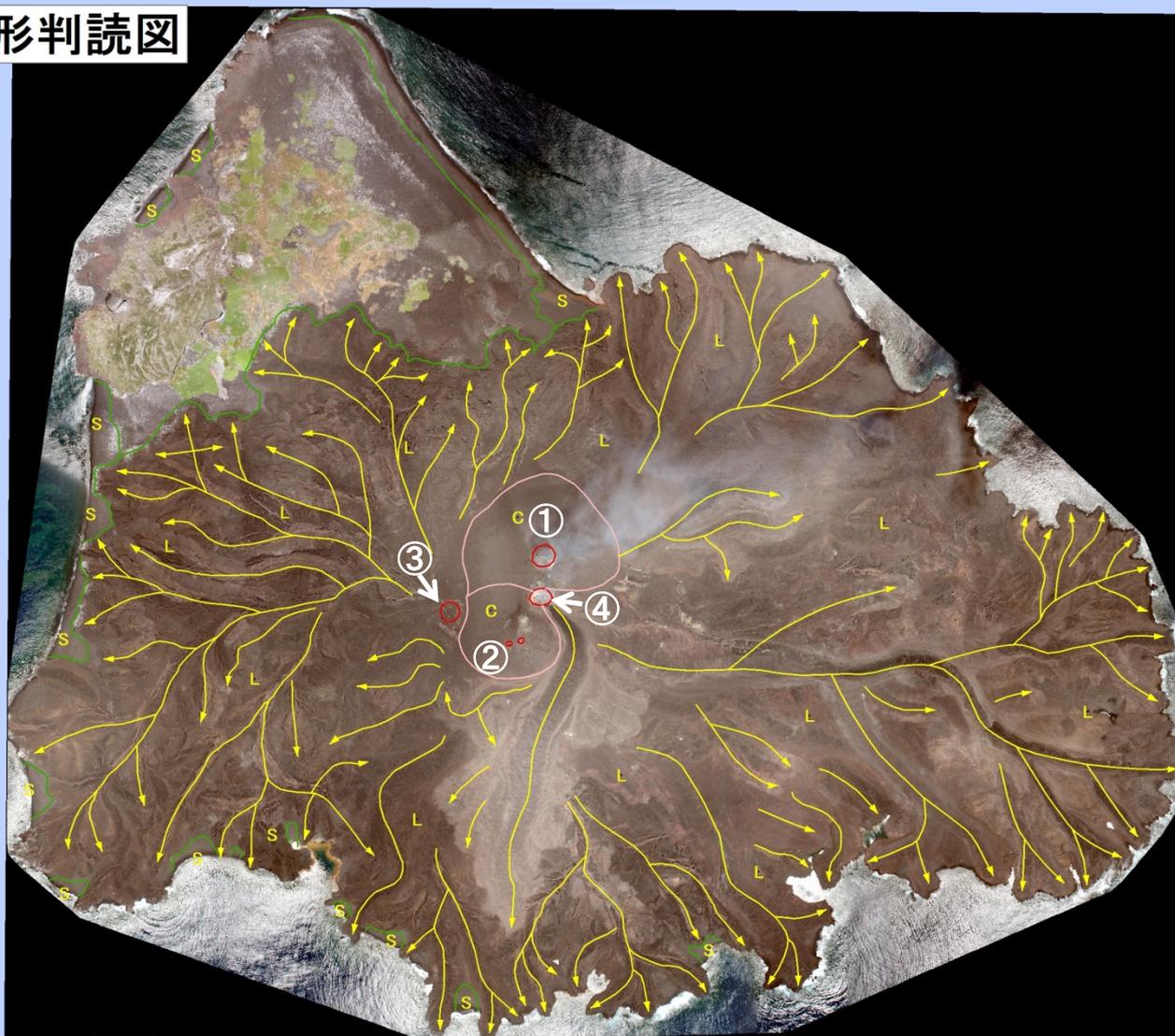


西之島噴火 地形判読図



- | 分類記号 | 分類 |
|------------------|----------|
| C | 火砕丘 |
| L | 溶岩流 |
| S | 砂州 |
| W | 水部 |
| — (green line) | 地形界 |
| → (yellow arrow) | 溶岩流の流下方向 |
| ○ (red) | 火口・溶岩噴出口 |
| ○ (pink) | 火砕丘 |



平成26年7月4日撮影

①～④は別紙5-2の説明に対応

平成 25 年からの西之島噴火による新たな陸地の形成・拡大について

(第五報)

平成 25 年 11 月 20 日に西之島の南東約 500m の海上で新島の形成が確認された。その後も新島の噴火は継続し、西之島と一体となり島の面積は拡大を続けている。

7 月 4 日に UAV で撮影した空中写真を判読して地形判読図を作成した。地形判読により判明したことは以下のとおりである。

- (1) 北側の火砕丘（別紙 5 - 1 : ①）の火口は盛んに活動しており、噴煙や火山砕屑物を放出して大きく成長している。
- (2) 南側の火砕丘（別紙 5 - 1 : ②）の火口は活動がほぼ停止しているとみられる。
- (3) これまで継続的に溶岩流を噴出してきた火砕丘西縁の火口（溶岩噴出口）（別紙 5 - 1 : ③）からの溶岩流の噴出が止まっているとみられる。
- (4) 南側と北側二つの火砕丘の間に火口（別紙 5 - 1 : ④）が形成され、そこから溶岩が噴出するようになった。噴出した溶岩流は東方及び南方に流下し、島の面積の拡大が続いている。